天創粉末

製品カタログ

PRODUCT CATALOG



破砕機

ダブルロールクラッシャー

SGP

ダブルロールクラッシャーは、鉱石、石炭、石灰石などを2本のロール間で破砕する装置です。ロール材質により許容供給粒度が異なり、破砕後の粒度を調整できます。鉱山・建材・化学分野などの試料処理に使用します。

https://jp.lab-mills.com/products/crushing-series/double-roll-crusher.html

作成日時 2026-10-14 16:48:43

製品概要

ダブルロールクラッシャーは、鉱石、石炭、石灰石などを2本のロール間で破砕する装置です。ロール材質により許容供給粒度が異なり、破砕後の粒度を調整できます。鉱山・建材・化学分野などの試料処理に使用します。










对辊破碎机SCP-YG



二本ロール破砕

長寿命で耐損傷性に優れ、
ステンレス鋼、コランダム、
ナイロン材を選択できます。

ベークライトハンドホイール

排出粒度を調整できます。
必要な破砕粒度に合わせて
ロール間隔を設定し、
最終粒度を制御できます。





コンパクトで簡単操作

二本ロールクラッシャーは
構造がシンプルで省スペース。
操作・保守も容易です。

冷却ファン通気口

高速運転時の気流と放熱を
効果的に高め、装置の安定
運転を確保します。



ローラークラッシャーは主に次の部品で構成されています:

1. **ローラー** ： 平行に設置された 2 つの円筒形ローラー（1 つは固定ローラー、もう 1 つは調整可能ローラー）。通常、表面に歯付き、溝付き、または滑らかなデザインがあり、高マンガン鋼またはその他の耐摩耗性材料で作られています。
2. **伝染 ; 感染** ： モーターはプーリーまたは減速機を介してローラーを逆回転させます。
3. **調整装置** ： 2つのローラー（ウェッジブロックまたは油圧装置）間のギャップを調整することにより、排出粒度を制御します。
4. **バネ式安全装置** ： 過負荷がかかるとローラーが自動的に分離され、機器の損傷を防ぎます。

1. **鉱業** ： 石炭、鉄鉱石、金鉱石などの粉砕。
2. **建材産業** ： 石灰石、石膏、スラグなどの破砕
3. **化学工業** ： 肥料原料やコークスなどの脆性材料の加工。
4. **他の** ： ガラスやセラミック原料の破壊。

技術仕様

ロール材	ステンレス鋼	コランダム（ハイアルミナセラミック）	ナイロン
ロールサイズ	Φ200×240(mm)	φ240×240(mm)	φ240×240(mm)
ローラー速度	52r/min	52r/min	52r/min
供給粒子径	≤20mm（低硬度脆性材料用多ローラー整列） ≤10mm（サクサク素材の特性による） ≤5mm（高硬度・低硬度サクサク素材）	≤10mm（サクサク素材の特性による）	≤10mm（サクサク素材の特性による）
放電粒子径	≥150um	≥150um	≥150um
生産量	300Kg/H（材質特性による）	300Kg/H（材質特性による）	300Kg/H（材質特性による）
モーター出力	1.5KW	1.5KW	1.5KW
全体の寸法	約950*620*970	約950*620*970	約950*620*970
装備重量	約220kg	約220kg	約220kg

応用分野: 鉱業、化学工業、セメント、耐火物、研磨材、建設資材

1. **選定のポイント** ：
    - 材料の硬度、湿度、粒子サイズの要件に応じて、ローラーの表面タイプ（歯付き/平滑）を選択します。
    - 生産能力のニーズに応じてローラーの直径と速度を調整します。
    - モータ出力と装置負荷の適合にご注意ください。

2. **メンテナンスに関する推奨事項：**
    - 定期的にローラー表面の摩耗をチェックし、適時に修理または交換してください。
    - ベアリングの潤滑を維持し、高温での動作を避けてください。
    - スプリング圧力を調整して、敏感な過負荷保護を確保します。

1. 材料は供給ポートを通って 2 つのローラーの間に入ります。
2. 2 つのローラーは反対方向に回転し、摩擦を利用して材料を粉砕キャビティに送り込みます。
3. 材料はローラーの絞り、せん断、分割作用によって粉砕されます。
4. 粉砕物は2つのローラーの隙間から排出され、排出される粒子径はローラーの隙間によって決まります。

- シンプルな構造で維持費も安価です。
- 排出粒度は均一です（通常調整範囲は2～10mm）。
- 機器の損傷を防ぐ過負荷保護機能。
- 中・低硬度材の微粉砕に適しています。

関連アクセサリー・仕様のご相談

付属品や仕様の選択肢は、製品の型式と用途に応じてご案内します。

関連アクセサリー
対応する付属品や消耗品は製品・仕様によって異なります。適合する組み合わせをご案内します。

仕様のご相談
電源、処理容量、材質などのご希望をお知らせください。対応可否と選択可能な構成を製品ごとに確認します。